

宮崎県 公立高校の入試制度

【2022年度版】

選抜概要

- 宮崎県の公立高校入試は、推薦選抜・一般選抜があります。

	推薦選抜	一般選抜
出願期間	1/20(木)~24(月)	2/17(木)~21(月)
志望変更期間	—	2/24(木)・25(金)
入試日	2/2(水)	3/8(火)・9(水)
合格発表日	2/15(火)	3/18(金)

- 出願は、原則1校1学科（1コース）に限ります。
ただし、一般選抜において、学科を2以上置く高校においては、原則として第2志望・第3志望まで志願することができます。その際、普通科内に設置する探究科学コース及び文理科学コースは、普通科と別の学科として扱われます。
- 合格者が募集人員に満たない場合は二次募集を行います。

推薦選抜

☆2022年度より**自己推薦方式**となります。

- 推薦選抜の出願資格は以下の通りです。
 - ・当該校への進学を希望し、かつ卒業後の進路希望とも照らして、当該校（学科・コース）への進学が適当と認められる者
 - ・意志が強固で当該校における教育課程の履修等、学校生活に適應していくことができる者
- 募集人員の割合は10%~50%までの範囲内で各学校が定める。
- 学力検査、適性検査、自己推薦書・調査書を資料とし、総合的に判定して行う。
学力検査…国語・数学・英語から3教科以内を指定して行い、傾斜配点を用いることができる。ただし、学力検査を行わない場合もある。学力検査を行わない場合は適性検査を行う。
適性検査…面接・小論文・作文・実技・学校独自から、各学校の特色に應じて実施する。適性検査を行わない場合は、学力検査を行う。

また、宮崎県競技力強化指定校の指定部を対象とするスポーツ推薦があり、出願資格は以下の通りとなります。

- ・都道府県の代表として全国大会やそれに準ずる大会に出場した実績のある者
- ・入学後、指定部活動等の競技者として入部し、取り組む意志のある者

一般選抜

●選抜資料

①学力検査…国語・数学・理科・社会・外国語（各50分・各100点）

※各学校や学科の特色に応じて傾斜配点を行うことが可能。

傾斜配点を行うのは2教科以内とし、各教科配点の1.5倍までとする。

②面接

③調査書等

体育コース受検者については適性検査も実施されます。

詳細については、試験前日に掲示されるほか、事前に関係中学校長へ連絡されます。

・上記の資料を用いて、総合的に判定して選抜を行います。

<二次選抜>

●県立高校に合格していない者を対象とした選抜です。

全日制においては、推薦や一般と同じく、原則1校1学科（1コース）の出願に限ります。学科を2以上置く高校においては、第2志望・第3志望まで志願することが出来ます。

選抜の検査方法や内容は、各学校により決定されます。

特記事項

●全国からの出願を認める学校・学科

教育委員会の指定する学校・学科においては、全国からの出願が認められており、募集人員は募集定員の20%以内となっています。ただし（一般選抜において）一家転住による志願者についてはこの限りではありません。

対象学校・学科は以下の通りです。

- ・飯野高校（推薦・一般計）普通科16名、生活文化科8名
- ・高鍋農業（推薦・一般計）園芸科学科8名、畜産科学科8名

●主な調査書の内容

①学習の記録Ⅰ

- ・第3学年の観点別学習状況及び評価は2021年12月末日までの成績が反映されます。

②学習の記録Ⅱ

・「総合的な学習の時間の記録」は学習活動及び評価の観点を記載した上で、それらの観点のうち、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などに、その特徴や生徒にどのような力が身に付いたのかを文章で記入されます。

③総合所見及び指導上参考となる諸事項

・「部活動等」は部活動等における大会やコンクールなどへの参加及び実績や受賞歴、「奉仕活動等」は学校内外における奉仕活動等及び表彰を受けた行為や活動等、「資格・特技等」には、取得資格や検定等についての級や段位等、主なものを具体的に記入されます。